

52pt

古典文学全集

46pt 字間ツメ

ボイコットの哲学

37pt 字間ツメ

日常生活からの脱却

26pt 字間ツメ

歴史にみる世界の情勢

28pt 字間ツメ

アラジンと魔法のランプ

30pt + 18pt

風水的幸福論・未来編

34pt 字間ツメ

調律師になるには

18pt 字間ツメ + 40pt 字間ツメ

19世紀末、パリに花開いた新芸術
アール・ヌーボー

49pt

錬金術大全

11pt/18pt

列伝として見たらどうだろう。この一篇はいろんな偉い人と共に正史の中に排列すべきものではない。自伝とすればどうだろう。わたしは決して阿Qその物でない。外伝とすれば、内伝が無し、また内伝とすれば阿Qは決して神仙ではない。しかも別伝としたらどうだろう。阿Qは大總統の上諭に依って国史館に宣付して本伝を立てたことがまだ一度もない。——英国の正史にも博徒列伝というものは決して無いが、文豪チッケンスは博徒別伝という本を出した。しかしこれは文豪のやることでわれわれのやることではない。そのほか家伝という言葉もあるが、わたしは阿Qと同じ流れを汲んでいるか、どうかしらん。

10pt/17pt

それはそうとこの一篇の朽ち易い文章を作るために、わたしは筆を下すが早いか、いろいろの困難を感じた。第一は文章の名目であった。孔子様の被仰るには「名前が正しくないと話が脱線する」と。これは本来極めて注意すべきことで、伝記の名前は列伝、自伝、内伝、外伝、別伝、家伝、小伝などとずいぶん蒼蠅いほどたくさんあるが、惜しいかな皆合わない。

9pt/16pt

それはそうとこの一篇の朽ち易い文章を作るために、わたしは筆を下すが早いか、いろいろの困難を感じた。第一は文章の名目であった。孔子様の被仰るには「名前が正しくないと話が脱線する」と。これは本来極めて注意すべきことで、伝記の名前は列伝、自伝、内伝、外伝、別伝、家伝、小伝などとずいぶん蒼蠅いほどたくさんあるが、惜しいかな皆合わない。

18pt

阿Q正伝

わたしは阿Qの正伝を作ろうとしたのは一年や二年のことではなかった。

けれども作ろうとしながらまた考えなおした。これを見てもわたしは立言の人でないことが分る。従来不朽の筆は不朽の人を伝えるもので、人は文に依って伝えらる。つまり誰某は誰某に靠って伝えられるのであるから、次第にハッキリしなくなってくる。そうして阿Qを伝えることになると、思想の上に何か幽霊のようなものがあつて結末があやふやになる。